

大阪北部を震源とする地震について区政会議委員のみなさまからいただいたご意見

1. 発災後の時間が経過してからの運営は非常に大切で、地域の災害対策本部や避難所運営委員会は日頃からの準備が重要なものですが、発災直後の避難所開設や運営には別の考え方が必要だと改めて感じました。

発災直後は役員でなくても、避難所に来た人で出来る人であれば誰でも避難所を開設できるようにシステムを構築しておく必要があり、日頃から住民を巻き込んだ訓練をしておく必要があると思います。

まず避難所に鍵を持っている人が来ない場合に鍵を取りに行くことも含めたマニュアルを作って、地域住民に告知しておく必要があります。

(鍵に関しては、大阪市防災アプリと連動し、震度5弱以上?の発信により、鍵が解除されるシステムができればいいと思います。)

2. 要援護者の安否確認において、私の場合は要確認者17名の皆さんが家に居られ、階段の上り下りが必要な箇所もありましたが、事前に順序を考えておいたことで日頃の友愛訪問よりスムーズに皆さんがお元気であることが確認出来ました。ただ、「耳が聞こえない方」や「ヘルパーが居ないとインターホンに出ることができない方」の確認が出来なかったのは課題となります。

3. 発災直後LINEは通じたとの話は聞きましたが、電話は殆ど通じませんでしたので、防災スピーカーを活用して「避難所が開設されました」とか、「水が届きました」といった情報を発信することを検討していただけたらと思います。

その為には、地域毎に情報を放送出来る様にする方が良いと思います。また、難しい事かもしれませんが、よく聞こえるように高いビルの屋上に設置をお願いしていただければと考えます。(西中島の場合ですと新大阪プライムタワーのように)

4. 地震が発生した時間帯が子どもの登校時間であった為、自宅に居る子や登校途中、到着している子等様々でしたが、子ども達はまだ余震の不安もあるため、集団での登下校又は見守り等、何らかの対策を考えていただけたらと思います。

5. 高層階の方から高層階は揺れて大惨事だったにも関わらず地上では思った程被害が無く街の雰囲気落ち着いていて助けを求めづらかったとの事。地域や個々のマンションで助け合うシステム作りをお願いしたいです。

6. 避難先でのペットの受入態勢がどのようなものかを事前に知っておきたい。受け入れてもらえるのか?受け入れ可能ならばどういう管理体制になるのか。

7. ラインの位置情報で家族に無事を知らせることは大変有効だった
8. この規模の地震では全戸放送と自分の無事を知らせるサインはとても有効だった。
9. 大阪市の震度5で自動参集に町会、地域も合わせて自動参集することが必要（実践する）。
10. 大阪市防災アプリより、直接、大阪防災ネットで状況を見て、大阪防災メールで情報が流れて来たが、ツイッターの方が情報が早かった。
11. 地震当日、自宅にいるのが怖いということで、集会室を解放し、みんなで怖さをしのいだ町会があり大変有効だと思う。
12. 地震後、子どもたちの心のケアの必要性を感じた（一人でエレベーターに乗れない、一人で学校に行けない、一人でお留守番ができないなど）。
13. 子ども避難所的なものをこの程度の地震の後に作れるよう準備したい。
14. 以上のようなことを踏まえ、今年度の防災訓練のメニューを組んで行きたい。